

Staff Interview

明日(アシタ)の岐阜県に向かって活躍する

今日の私の仕事が、
明日の岐阜県のためになる!

イマの仕事

岐阜県の観光・食・文化と一緒に、県産品の良さを海外の方に知っていただくことが私の仕事です。海外の展示会に出展したり海外の店舗で県産品フェアを開催したりしています。岐阜県には、豊かな水が育む美味しいお酒や美濃和紙、関の刃物などさまざまな県産品があります。この魅力を伝えるためには、どんな見せ方が効果的なのかと、常に考えています。大学卒業後、県に入庁して、今年で2年目になりました。入庁したばかりの頃は、自分の仕事に不安を感じることもありましたが、海外店舗での県産品の販売が決まったとき、事業者の皆さんに喜んでもらえて、私もすごくうれしくて、そこからは、とにかく前に進んでみようと思うようになりました。実際に海外に行ってみて、県という大きなまとまりになって出展すると、外国の方に興味をもってもらいやすいということも実感しました。県が一番はじめに出ていくことが県産品の海外販路拡大には大切だと思います。毎日コツコツと情報を集め、関係者との検討を重ねて魅力的な企画を展開していきたいです。



行政

県産品流通支援課
古澤 主事

入庁2年目



▲海外バイヤーとの打合せ



▲海外に足を運んで岐阜県の地酒をPR!

ある日のスケジュール

- 登庁
- 8:30 ● メールチェック・書類作成など
- 10:00 ● ギャラリーGIFUの展示状況をチェック
- 12:00 ● 昼休み
- 13:00 ● 海外バイヤーとのオンライン会議
- 15:00 ● 上司との打合せ
- 16:00 ● 海外展示会の資料作成
- 17:15 ● 退庁



イマの仕事、アシタの私たち

職員の今日(イマ)を紹介します。

県民を守る。その思いを集結し、
明日の災害医療体制を創りたい!

イマの仕事

災害医療の体制づくりに関する仕事をしています。災害医療の整備は、県民の命を守る県の重要施策のひとつです。医療機関や市町村をはじめとする関係団体と連携し、災害発生時を想定した訓練をしたり、他県の災害対応の最新事例などを情報共有したりしながら、これからの体制づくりを進めています。関係する方々との思いを集結し、災害時の危機管理体制を向上させる、その一助になれるよう日々努力していきたいと考えています。

これまでの経験

進学や就職で地元を離れ、改めて岐阜県の暮らしやすさに気づいたんです。県に戻って働く人を支援する仕事がしたいと思うようになり入庁を決めました。最初は、生活困窮者を支援する業務を経験して、県税事務所では法人事業税に関する仕事をしました。そこで総務省への派遣が決まって、ちょうど消費税が10%に引き上げられる時期だったので、全国の税収がダイナミックに動く中でその分析を行い、地方財政にも影響していく、その中枢で仕事できたことは得難い体験でした。これまで、地域のために活動する団体や企業、国の政策を動かす省庁、地域医療を守る医療機関…さまざまな組織の方に出会い、その全ての方が社会をよりよくしようと真剣に仕事をされていました。皆さんの高い視座と強い意志に触れ、価値観が広がり、県職員として働く意義を身に染みて理解するようになりました。

配属歴

- H27 地域福祉課
- H30 西濃県税事務所
- R元 総務省自治税務局都道府県税課
- R2 市町村課
- R5 医療整備課

行政

医療整備課
早野 主任

入庁10年目



ある日のスケジュール

- 登庁
- 8:30 ● 県内医療制度に関する照会メール対応
- 10:00 ● 災害医療コーディネーター研修の企画書づくり
- 12:00 ● 昼休み
- 13:00 ● 県内医療機関と打合せ・書類作成
- 15:30 ● 他部局との打合せ
- 16:00 ● 打合せ結果のまとめ・共有
- 17:15 ● 退庁

